

測量計算 (TS・GPS)

# A-SurveyPC

Windows

エース プロジェクト

2021/10

Ver2.64.5 で追加された機能を説明します。

- ・ GeoCOM パワーサーチは 3 とおりで。
- ・ APA ファイルの結合、JOB 名＝路線名

## 1、 GeoCOM パワーサーチは、3 とおりで。

パワーサーチの使用を下記の 3 とおりを想定します。

①A-Survey で設定した範囲でパワーサーチ

②TS で設定した範囲でパワーサーチ

③TS の「ターゲット予測」(自動プリズムサーチ)を使用している  
状態で、A-Survey からパワーサーチを実行もできます。

LiCa Search

検索範囲

水平： 10 度

鉛直： 10 度

放射トラ、他

☒ 自動追尾 ☐ 自動視準 ☐ なし

杭打ち、丁張

☒ 自動追尾 ☐ 自動視準 ☐ なし

☒ BS:自動視準しない

☐ 杭打ち振向は、水平のみとする

☒ パワーサーチ範囲は上記を使用

詳細 OK

“パワーサーチ範囲は上記を使用”  
にチェックを付けると、従来とおり  
このサーチ範囲が有効になります。  
①の設定です。

チェックを外すと、②、③で使用します。

下記は TS16 の設定画面です。

## ②TS で設定した範囲でパワーサーチ

この画面の様に、TS 側で範囲を設定します。

“パワーサーチウィンドウを使用” にチェックを付けます。

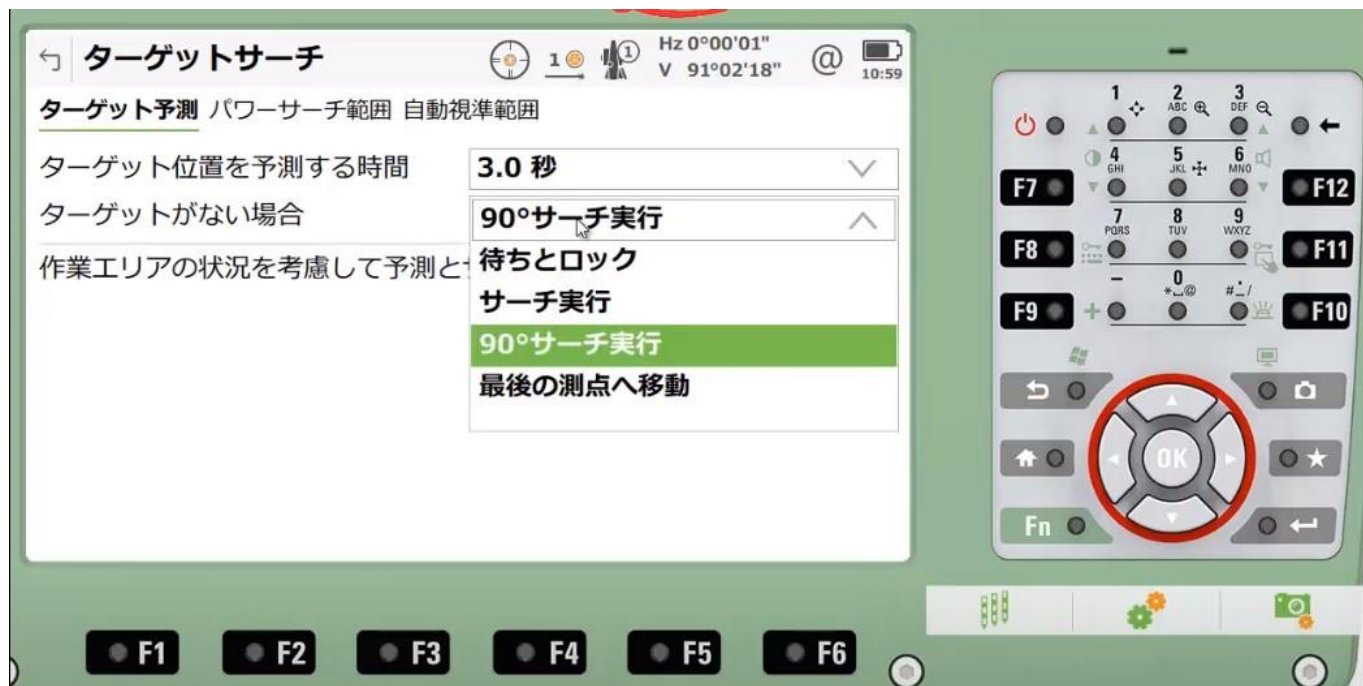
この状態で、A-Survey からパワーサーチを実行します。

この設定が有効です。



③TS の「ターゲット予測」(自動プリズムサーチ)を使用している

TS 側で下記のように、ミラーをロストしたときの動作を指定できます。  
この設定状態でも、A-Survey からパワーサーチを実行できます。



## 2、APA ファイルの結合、JOB 名＝路線名

APA ファイルには、JOB 名(業務名)の項目があります。

A-Survey では、器械点毎に APA ファイルを作成した場合には JOB 名は開始時間になっています。

「APA ファイルの結合」にて、複数の APA ファイルを 1 個のファイルにします。  
観測日の違う APA ファイルを、1 個にする事もありますので  
器械点毎に、このデータは必要です。

今回、JOB 名(業務名)を統一したいとの要望がありました。

「APA ファイルの結合」で、路線名を入力します。

この路線名は、APA ファイルのファイル名になります。

そこで、路線名を JOB 名として、1 個のファイル内で統一しました。

路線名＝ファイル名＝JOB 名

です。